

基礎医学委員会ICLAS分科会（第21期・第2回）議事要旨

日 時：平成22年1月7日（木）14：00～15：30

場 所：日本学術会議5階 5-B会議室

出席者：伊藤豊志雄、鍵山直子、玉置憲一、八神健一、渡辺 守

欠席者：北島政樹、篠田義一

議 事：

玉置委員長の司会で議事が進行された。

報告事項

1. ICLAS活動報告：

2009年6月にウルグアイのモンテビデオで開催されたICLAS理事会、11月に米国デンバーで開催されたICLAS役員会とICLAS International Consortium Meetingの報告がなされた。資料として、モンテビデオとICLAS International Consortium Meetingの報告書と議事録を提出した。

2. 今後のICLAS予定：

- ・次回理事会：2010年11月7～8日、台北（台湾）

4th AFLAS（Asian Federation of Laboratory Animal Science Associations）会議とのジョイントで、主要議題は、①Harmonization of Guidelines “Genetically Engineered Animals” の討議と②総会の準備である。

- ・次回総会：2011年6月9～10日、イスタンブール（トルコ）

- ・5th AFLASは2012年、バンコック（タイ）の予定である。

検討事項

1. ILAR (Institute for Laboratory Animal Research)のThe development of an International plan for primate resources in research and testing.

米国The National AcademiesのILARからのNonhuman primatesに関する提案に対し、ICLAS分科会としてニホンザル、マーモセットなどの日本の現状を紹介するとともに、見解を示すこととなった。伊藤幹事がとりまとめる。

2. ICLAS分科会から実験動物分科会への合同会議の提案

国内情報として、2004年の日本学術会議の提案以来、法改正、ガイドライン、基準や基本指針の策定が行われた。法改正以後に国内で実施されたことを確認（第三者評価システムの運用など）し、一方で動物愛護に係わる国外情報の交換を目的とした合同会議を提案することとした。